



千曲市議会だより

No.97

2月臨時会
3月定例会

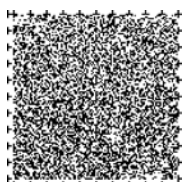
令和7年5月1日発行

みんなの議会



森將軍塚古墳のふもと、科野のムラの春。足下に目を向けると、
小さなナズナたちもそっと春の訪れを告げています。

2月臨時会・3月定例会	2
討論・動議	5
代表質問	8
個人質問	12
委員会視察報告	18



(音声コード)

議案審議での質疑

令和7年度一般会計予算案
地域おこし協力隊募集業務委託料について

Q 移住や地場産品の開発など地域協力活動が制度の要件だが、定着には至っていない。現在、課題を抱えている地域から相談も受けているので、今後採用が可能か検討する。移住・定住施策が地域振興策かという点、地域おこしに従事していたことが制度の趣旨と考える。

A 姨捨棚田、あんずの里、信州千曲観光局などで隊員を必要としているのではないかと。地域との話し合いをどのように進めるか。

Q 本市において隊員は平成28年以降7名の採用実績があったが、現在ゼロの状況だ。受け入れ側の市がうまく職務を担当させることができず、雑用係のような扱いになっていたのではないかと指摘もある。市役所業務や地域活動における人手不足の解消のため、地域に必要とされる分野において市民の提案をもとに隊員を採用し、ともに活動を進めるべきだ。国の交付税措置があるにもかかわらず、本市では活用できていない。例年と同じ方法でなく、この制度を活用する具体的な取り組みを伺う。

A 協力隊は普遍的に存在する地域課題の解決や、人手不足を補うためのものではない。市や地域がどういう方向に進みたいか、それにはどんな方のような活動をしてもらうのか、整理して募集しなければならぬ。任用後は行政と受け入れ地域が一体となって隊員を支援する体制を早急に構築することが必要である。



荻原 光太郎



令和7年2月臨時会

千曲市のこんなことが決まりました。

■ 会期 1日(2月4日)

2月臨時会の議案は

市長提出議案 6件

主な議案 ・令和6年度千曲市一般会計補正予算(第6号)の議定について
(この補正は、国の補正予算に伴う物価高騰対策事業や人事院勧告による人件費の増額など、総額5億5000万円を追加するもの。)

令和7年3月定例会

千曲市のこんなことが決まりました。

■ 会期 26日間(2月17日～3月14日)

3月定例会の議案は

市長提出議案 27件

委員会提出議案 3件

請願・陳情 3件

主な議案 ・令和7年度千曲市一般会計予算の議定について

議案等の審議の結果は、千曲市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。
賛否が分かれた議案の各議員の賛否は、ホームページの「議会日程」の中で公表しています。



Q 今年、免許取得費用を助成する人数は。

A 令和7年度は最大9名の助成を想定している。

Q 準中型免許を取らないと3.5トン以上の車を運転できない消防団員は何名いるか。

A ラップ分団を除き、団全体で34名、そのうち所属班に3.5トン以上の車が配備されている分団の対象となる団員は17名。

Q 消防団員なら誰でも対象か。また、本人に支払うのか。

A 原則、取得費用の全額を想定している。

Q 準中型免許の取得費用はいくら助成されるのか。

A 条件として、一定年数消防団に在籍することを確認中。免許取得後に本人に対し支給する。



総量3.5トン以上の消防ポンプ車

総務常任委員会

Pick up 1

消防団準中型免許取得事業について

平成29年3月の道路交通法改正により、平成29年3月12日以降に普通自動車免許を取得した人は、総量3.5トン以上の車を運転するには別途「準中型」運転免許を取得しなければならない。

討 論 このような理由で賛成・反対しました。

令和7年度一般会計予算案

採決結果：可決

賛成
 坂口 吉一

本予算は316億5千万円で、前年度比7億円増額され、「安心して暮らせるまち」「地域経済の活性化」「持続可能なまちづくり」を目標に編成されている。子育て支援や福祉の充実、交通インフラ整備、防災対策強化などが盛り込まれ、財政の健全性にも配慮されている。小学校校舎の耐力度調査費用の計上は今後の課題として検討すべきであるが、全体として市民生活向上と未来への投資のバランスが取れた予算であり、賛成する。



反対
 前田きみ子

精神障がい者の福祉医療費を入院費まで拡大したこと、子どもの医療費は窓口負担をなくし、18歳まで完全無料化（令和7年8月から）などについては評価できるが、令和5年度の経常収支比率94.9％で年々比率は高くなり、財政構造の硬直化が進んでいる。本予算では、屋代小旧本館に1億8千万円、重伝建に2400万円とバランスのとれた予算ではない。またマイナンバーカード取得、マイナ保険証取得に国は全体で2兆円を投じ普及をした。マイナンバーカードの取得率は90％だが、マイナ保険証の医療機関の使用率は17％である。競輪場外車券売場の環境整備費が計上されているなど、市の大規模予算は、弱い立場、困っている人に手を差し伸べる予算になっていないため反対する。



国民健康保険特別会計予算案

採決結果：可決

反対
 前田きみ子

1人暮らしの高齢者が「物価高で暖房や食べ物を我慢しすぎて体を壊してしまった」との話がある。協会けんぽや共済組合は毎月雇用者側が2分の1払うが、国保料は全額加入者が払うため負担が重くなる。国民皆保険制度が国保のセーフティネットの機能を果たしている。しかし、現実には物価高で医療機関にかかることをためらう受診控えの状態である。国保加入者の所得に占める保険料負担は公的医療保険の2倍、所得の2割近くが保険料となる場合もあり、保険料は限界を超えている。収納率低下や加入者の生活困窮を生み、国保に加入しない無保険者の増大にもつながる。国保会計に一般会計からの法定外繰り入れをし、払える額の保険料にすべきとの立場から反対する。



請願陳情

採決結果：不採択

「核兵器禁止条約への政府の署名と国会の批准を求める意見書」の提出を求める請願

反対
 荻原光太郎

日本の安全保障は日米同盟に基づく核抑止力による可能性がある。また、トランプ政権の米国第一主義により、経済、外交への影響も懸念される。核兵器禁止条約には核保有国が参加していない。日本政府は核不拡散条約を基に核軍縮を推進しており、核保有国を交渉のテーブルにつかせること、国際協調のリーダーとなることが求められている。



日本はただ一つの戦争被爆国。アメリカの顔色を伺うのではなく、そしてオプゾバーとしてではなく、条約に批准し、原爆の恐ろしさを世界に訴え、被爆者の思いに報いるべきだ。

賛成
 中村 恒彦

核拡散防止条約はアメリカ等5か国以外に核兵器が広がらないことを目的としているが、5年ごとの再検討会議は直近2回とも決裂。核軍縮が進まない中で核兵器禁止条約ができた。核兵器を持てば戦争を防げるという核抑止論があるが現実には防げない。



反対
 滝沢 清人

本質的な問題は、いかに核保有国を核廃絶に向かわせるかであり、そのための努力をして、将来的な批准に向けての環境整備を行うことである。我が国が先行して核兵器禁止条約を批准することが、核廃絶につながるとは到底思えない。むしろ核保有国と共に批准することを目指すべきだ。まずはオプゾバー参加を目指すことが、現下の国際情勢に照らして最適と考えるため、核保有国への具体的なアプローチに言及がない本請願には賛成できない。



令和7年8月から事業開始予定

③「今後の予定」…令和7年7月中旬に新たな受給者証を発送する。（現在有効な受給者証を
 持っている人は手続き不要）

②「窓口での自己負担額」…通院・入院・薬局1レセプト500円は無料

①「対象範囲」…0歳～18歳年度末の子ども
 【内容】

社会文教
 常任委員会

市では、子育て支援の充実を図るため、これまで一医療機関につき500円を受給者負担としていた子どもの福祉医療費を、健康保険適用の医療費の窓口負担が0円となるよう、令和7年8月診療分より助成する。

Pick up 2
 子どもの福祉医療費が窓口無料に
 （ただし健康保険適用診療分に限る）

A Q

モーダルコネクト拠点整備の計画は。



屋代地区 SIC 周辺の整備が進む
(市道一重山2号線ほか)



市道一重山2号線軟弱地盤対策盛土工事

※モーダルコネクト=日常生活や経済活動を支える道路ネットワークと多様な交通モードを連携、強化し、利用者が交通を選択しやすい環境を作ること。

A Q

流用土ストックヤード施設整備については。

経済建設
 常任委員会

屋代地区スマートIC整備事業として、本体用地測量、補償調査費、側道用地の測量、流用土ストックヤード整備事業、モーダルコネクト施設などIC本体及び周辺整備に関する事業の業務委託料などに3億4738万円を計上した。

Pick up 3
 (仮称)屋代スマートICの周辺
 整備事業の計画について
 (令和7年度一般会計予算案)

予算組み替え

～老朽化が著しい小学校の

動議を可決!!

調査費の計上を求めて～

市長は「財源の確保ができた時点で遅滞なく予算化する」旨を表明。

議会が市長に対して予算案の再提出を要求。

A **Q**

一般財源の支出を見直し最大限努力する。個別施設計画については計画通りに進めていくが、計画なので状況に応じて変更する。

上山田小と治田小の2校分6千万円の調査費を6月補正予算に計上できるか。また、個別施設計画に則り計画的に耐力度調査を行ってほしいがいかか。

A

令和6年度決算状況を見極めながら、最短で6月議会補正予算等で、できるだけ早く対応する。緊急性の捉え方に相違があるが、雨漏りや壁のひび割れ、床の傷みは修繕で対応できる。財源の確保については、補助金等の特定財源が使えないので、6年度決算状況を見極め一般財源で対応していきたい。例えば文教施設整備基金というものもあるが、文教施設整備基金条例に沿って活用しており、耐力度調査には使ったことがない。

Q

1点目、議決を真摯に受け止め、遅滞なく対応するとはどのような対応か。2点目、現状では緊急性がないと判断したとのことだが、治田小学校は雨漏りや壁のひび割れ、床の傷みが激しい。そのような環境の中で子どもたちは朝から夕方まで過ごすことになるが、それでも緊急性はないのか。3点目、財源の確保について、令和6年度決算状況を見極めながら財源の確保をするとのことだが、どの時点で確保できるか。

市長の意思表明に対する
緊急質問



柳澤 眞由美

築52年の治田小学校



濡れて使用
できない本棚



雨漏りしている
図書室

予算の組み替え動議とは？

議員が市長に対して、予算案を撤回、削除、修正して再提出することを求める動議。法的拘束力はないが、動議が可決された場合、市長は議会の意思を重く受け止め、予算案の撤回、修正の判断を行うことになる。

豆知識

緊急質問とは？

議員が本会議場で発言するときは、あらかじめ議長に申し出ることにしているが、災害や行政に重大事態が生じる恐れがある等緊急を要する事件が起きたとき、あるいは客観的にやむを得ないと認められるときに、議会の同意を得て行う発言のこと。

豆知識

3月14日の本会議最終日で、市から提出された令和7年度一般会計予算案に対し組み替えを求める動議が、宮下繁明議員と11名の賛成者から提出され、賛成15人、反対3人の賛成多数で可決しました。その後、動議に関する市長の表明に対し、柳澤眞由美議員が緊急質問を行い、一般会計予算案は賛成11人、反対7人で可決されました。

提案説明



宮下 繁明

議案第24号令和7年度千曲市一般会計予算案には、老朽化が著しい小学校の改修についての予算が計上されていない。私は市内の小学校9校をすべて見て来たが、校舎や施設の格差は大きい。特に上山田小学校は昭和43年の建築から57年、治田小学校は昭和48年の建築から52年と、共に耐用年数を大きく経過しており、児童は劣悪な環境下で過ごしている。公共施設個別施設計画では令和7年度に耐力度調査を行う計画になっていた。令和7年度予算は過去最大の316億円。施政方針の重点施策の第1番目に教育環境の整備があるにも関わらず予算化しないのは、小川市長の「ごまんなか宣言」に反するのではないかと「国づくりは人づくり」、戊辰戦争に敗れた長岡藩で米百俵を元に学校を建て、日本を担う多くの人材を育てた小林虎三郎の「米百俵の精神」に学ぶべきではないか。教育こそは最も重要な先行投資であり、未来を担う子ども達のために教育環境の整備は優先して行うべきで先送りすべきではない。令和7年度の予算を精査し、上山田小と治田小2校の耐力度調査費6千万円を計画通り計上するよう令和7年度予算案の組み替えを要求する。

築57年の上山田小学校



賛成討論
柳澤 眞由美

10款教育費3項小学校費に治田小学校と上山田小学校の耐力度調査費6千万円が盛り込まれなかった。雨漏り等で老朽化した治田小学校の建て替えの提案について「令和7年度に耐力度調査を予定し、その結果を基に改修計画等について検討する」と令和5・6年度に答弁している。今回の組み替え動議について賛成したのは、令和7年度予算案の「足らざるを補う」ためだ。小川市長には、千曲っ子への愛情と子どもたちの安全のために、当初予算案に対し適切な措置を講ずることを求める。



傷みが激しい放送室の床

57年使い続けている図工室

賛成 15人
反対 3人 で動議が可決！



一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

代表質問

P.8～P.11

会派を代表した議員が、市長の施政方針や予算方針に對して行う質問。毎年3月の定例会において実施する。

今定例会では、

5名の会派代表者が質問しました。

1回目

一括質問一括答弁方式

2回目以降

大項目ごとに一問一答方式

再質問は1つの大項目につき2回まで

個人質問

P.12～P.17

市議会議員個人が、市の行政全般にわたって、市長・教育長等の方針について、答弁を求めるもの。

今定例会では、

12名の議員が質問しました。

千曲市議会公式YouTubeチャンネルで、

一般質問の全ての内容を動画を視聴することができます。各議員の顔写真の下にある二次元コードを読み取ると、その議

員の一般質問の動画を視聴できます。ぜひご覧ください。

(動画は一般質問の約2週間後から配信されます。)



議会公式チャンネル

千曲市議会YouTube

検索

代表質問



自由政策研究会
代表 和田 英幸



令和7年度予算案について

過去最高316億円の予算概要と財源の根拠は。

特に市民税と固定資産税が増収となる。基金を取り崩すが、適正規模の基金は保有しているので健全財政は維持できる。

当初予算案と重点施策について

中期財政試算で令和9年度予算を340億円と試算する要因は。

企業誘致に要した補助金の増額と新戸倉体育館建設や千曲線整備事業がピークとなり、道の駅事業や(仮称)屋代スマートインターチェンジ整備事業等の進捗に合わせた事業費が必要となる。

都市基盤整備(インフラ整備)について

屋代SICスケジュールと完成予定は。

本年3月に設計説明会を行い、令和7年度に用地測量、補償調査、用地説明会を行い、用地取得を順次進める。令和12年度の完成を目標としている。

国道403号横町交差点の右折レーン設置は。

地域要望を受けて令和5年度から県へ要望を重ねている。本年3月には周辺交差点の交通量調査を実施する。

市道一重山2号線建設計画と一重山線全線の供用開始に向けての課題と建設見通しは。

一重山2号線は事業用地77.2%取得済みで令和10年度の完成を目指している。一重山を越えるルートは令和7年秋以降に説明会を実施し公表する。

人口減少に係る行政の施策について

若い女性が定着する社会を作らなければならない。行政の施策は。

女性の就労の場確保に向けて屋代SIC整備や屋代地域開発により企業誘致を図り、市内事業者へは選ばれた企業になるための意識改革や職場環境の整備を働きかけ産業振興を進める。

高齢社会への対応に係る施策について

医療充実に向けて地域型基幹病院の千曲中央病院への支援は。

千曲中央病院は公益性の高い特定医療法人であり、救急医療を担い必要不可欠な医療サービスを提供している。その機能を維持強化することは市民の健康を守るために欠かせない。経費補助について今後研究する。

歴史文化財の保存活用と整備について

屋代小学校旧本館整備事業の耐震改修工事の内容は。

事業費1億8千万円を計上し令和8年度完成予定。耐震工事は外側から見えない構造部分の補強で長期保存を図り、施設活用時の利便性を高める改修を行い、文化財としての価値を維持し広く活用可能な施設とし整備を進める。



屋代小学校旧本館耐震改修工事に1億8千万円計上(令和7年度、8年度)



一志会
代表 川嶋 敬信



まちづくりについて

施政方針では通学路の危険箇所の整備を挙げているが、屋代スマートICや一重山2号線が開通すれば、屋代小学校や屋代中学校の通学路が渋滞し危険が増えるのではないか。

今年度から策定する「屋代スマートICを活用した魅力あるまちづくり方針等策定」業務及び令和7年度策定予定の「周辺交通処理計画」業務で検討し、地域住民の理解を得られるよう対応したい。

雨宮地区の国道403号線の交差点改良工事をなぜ市で行うのか。

国・県・市を問わず交差点改良が必要な場合は、その原因となる事業者、今回の場合は市がその工事を負担することになる。

交差点改良を市で行う場合の財源は。

財源内訳は国交付金が50%、公共事業等債45%、一般財源5%で、公共事業等債の10%は交付税となる。

一般的に県が道路工事を行う場合、市はどの程度負担しているか。

県単独事業で道路工事を行う場合は、事業費全体の15%を市で負担している。



工事が始まった一重山2号線

交差点改良工事の市の負担が多額になるが、県への追加支援のお願いはできているのか。

今後検討する。

行政改革の推進について

「組織・体制の見直し」「業務効率の向上」「市民サービスの向上」が必要ではないか。

市では行政改革大綱実施計画書を作成し、その中で「業務の見直しによる適正な人員配置と多様な働き方の実現」「全庁ネットワークの更改に合わせた業務効率の進展」「コンピニ証明書交付の利用促進」などの取り組み事項を定め、現在各課で計画を進めている。

産業支援センター条例では「農林業・商工業・観光業等の相互連携及び活動への支援を行い、もって地域産業の発展に資するため産業支援センターを設置する」とあるが、現状はものづくり産業に特化している。産業支援センターは必要ないのでは。

農林課、商工課、観光課があるので、今後検討する。

情報公開と住民参加の促進について

まちづくりの基本原則は「情報共有」と「市民参加」ではないか。

市では「情報共有」として市報、ホームページ、SNS等で情報を積極的に提供している。今後は市の政策や財政状況について、多くの市民により分かりやすく説明する機会を設けることなども検討する。



新政クラブ
代表 中村 真一



上田長野地域水道事業広域化について

Q 令和3年度の厚生労働省の財政シミュレーションでは約570億円、1/3は国庫補助とのことだったが、令和6年度からは国土交通省の所管に移行し、コストが100億円以上になった。その内容を問う。

A 物価上昇もあり、国庫補助金を最大限活用するための施設整備内容の精査をし、基幹となる送水管の二重化とルート、工法等の計画見直しを図った結果である。広域化事業費の送水管二重化事業等全8事業で500億円、運営基盤強化事業で500億円、管路の耐震化事業等で119億円を見込み、合計で1119億円となった。

Q 直径700ミリの送水管を、上田市から長野市まで千曲川兩岸へ二重化する必要性と、万葉橋及び千曲橋で交差させる必要性は何か。

A 幹線管路の二重化による浄水場間のネットワーク化やバックアップの実現等と災害等の非常時に備えたバックアップ体制の強化等につながる重要な事業。万葉橋、千曲橋には既に県営水道の送水管が設置されているので、千曲川の右岸側、左岸側に送水することで弾力的な運用が可能となる。



上田長野地域水道事業
広域化についての資料

Q 能登半島地震では水道の復旧には5か月もかかったが、災害時の復旧対策はいかがか。

A 広域化協議では、浄水場間の連絡管の整備や幹線管路の二重化整備による危機管理体制の構築を目指す。

Q 1月の産経新聞の報道によると、国は災害に強い湧水の活用による「分散型水道システム」の可能性調査に乗り出したが、広域化と両面から慎重に検討すべきだがいかがか。

A 広域化協議の中で、災害時の水源として湧水水源の利用も要望する。引き続き国、県の動向を注視する。

Q 発がん性の有機フッ素化合物「PFAS」が全国で検出されているが、水道事業を担う自治体としての対応は。

A 市では令和4年度から年1回の独自水質検査を実施しているが、検出されていない。

防災減災対策について

Q 今年1月に八潮市で道路陥没事故が発生した。下水道管の耐用年数は50年といわれるが、当市の下水道管の経年状況はどうか。

A 当市では古いものでも、設置から36年経過で老朽化は進んでいない。また5年に1回の下水道点検を実施している。

【その他の質問】

○令和7年度予算編成について
○大型建設事業の進行状況について

代表質問



日本共産党千曲市議員
代表 前田 きみ子



市の健全な財政について

Q 2025年度当初予算案は、316億5千万円で前年度当初予算に比しプラス7億円である。中期財政試算によれば一般会計では今後5年間300億円を下らない予算になる。市が予定している大型事業は戸倉保育園、新戸倉体育館、屋代地区スマートインターチェンジ整備事業、産業連携道路ネットワーク整備事業、防災拠点「道の駅」整備事業がある。財政調整基金は2年続いて9億円取り崩している。バランスのとれた市政運営が必要だが。

A 現在進めている各種都市基盤整備は「将来への投資」であり、ソフト・ハードのバランスのとれた市政運営が可能になる。

市内で有機野菜の推進を

Q 昨年12月8日「有機農業の日」に第2学校給食センター管内で、有機野菜を使用したオーガニック（できる限り自然な方法で生産された食品や製品）給食を提供した。大変評判がよいが、今後も安心安全、地産地消、栄養満点のオーガニック給食を。

A 有機野菜は化学肥料や化学農薬を使用しないため安全で環境に優しいとされ、学校給食において食育の観点からも、積極的に取り入れていく。

重要伝統的建造物群保存地区は

Q 稲荷山重伝建の「鍵の手」「信金跡地」について、市土地開発公社からの買い戻しはいつできるのか。

A 鍵の手は買い戻しの事業費、活用計画、整備年次計画をまとめ文化庁に提出し、補助事業が採択された場合、補助金が出る。信金跡地は、文化庁の補助事業がないため、国土交通省の補助事業の活用を予定している。

Q 本陣松木家の黒門については、個人の所有で修理修景は難しいが、松木家は宝暦年間1750年代庄屋松木権左衛門が稲荷山地域に村民を動員し、2千条の水路を造った家である。松木家の黒門は倒れかかっている。何か良い方法はないか。

A 昨年「日本遺産 月の都の文化財を育む会」が発足し、日本遺産の構成文化財の保存・活用事業を行っている実績があり、こういった民間の力を結集して自己負担分の調達を行うことも、一つの方策ではないかと考える。



本陣松木家の黒門



公明党
代表 柳澤 真由美



令和7年度施政方針と予算案

Q 「想像力と創造力」を働かす市政運営とは。

A 第三次総合計画の実現に向けて、市民意識や民間感覚とのズレが生じないよう市民ニーズの把握に努め、政策立案に活かしていく。また、創意工夫を持って行政課題を解決するため、公民共創による民間企業との連携、職員提案制度の活用を行い、「すべては市民のために」の思いで、職員と一丸となって施策・事業に取り組む。

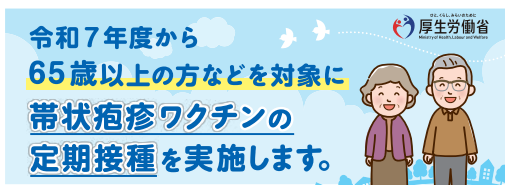
Q 過去最高の予算案について、財政状況と今後の見通し、重点投資施策、財政規律の堅持と職員の事務事業の合理化等を問う。

A 財政の健全性を判断する指標「健全化判断比率」を数値的に見ても健全であることが示され、関東財務局のヒアリングでも「千曲市は注意すべき状況にない」と評価されている。今後は大型事業が複数控え、物価高騰の影響もあるが、公共施設の統廃合や事業の見直しによる経常経費の削減等に努める。次に、子育て支援策と交通の要衝を活かしたまちづくりを重点を置いた予算案とし、ソフト・ハード両面から将来に向け、持続可能な千曲市を目指す。財政規律の堅持は、市債発行額が公債費を上回らないことを一つの規律とし、将来負担を軽減していく。事務事業はPPP/RFI手法導入を検討し、合理化を進める。

Q

令和7年度新規3事業「带状疱疹ワクチン」の定期接種事業、フリースクールに通う児童生徒への補助金、18歳以下の子どもの医療費窓口無料化事業について。

A



带状疱疹ワクチンのお知らせ（厚生労働省 HP より）

「千曲市フリースクール」は1月当たり上限1万円。対象者に情報が届くよう周知する。8月から18歳以下の子どもの医療費は無料になる。

Q 空調設備整備臨時交付金（令和15年度まで活用で、学校体育館の整備を始めないか。

A 耐力度調査を実施、それを基に改修計画の中で体育館空調整備実施も考えていく。

【その他の質問】

○第三次総合計画の推進と充実について

●防犯カメラ設置補助金創設、道の駅整備基本計画

●5歳児健診の導入

●「姨捨棚田」プロジェクトチーム提案

○GIGAスクール構想で整備された端末の更新について

新政クラブ

堀内 太一



稲荷山重伝建について

稲荷山重伝建は、平成26年12月10日に選定されて10年経ったが、稲荷山のまちには活気ある賑わいが感じられない。市の将来像を「人をてらす人をはぐくむ人」つながる月の都文化伝承創造都市・千曲」としている市長に、今後の稲荷山重伝建の活用や保存・修復に対する意気込みを伺う。

A

伝統的建造物等の修理、修景事業は進んでいるが、管理施設や環境整備が進んでいない。保存計画の目的を実現するため、地域住民の皆様とのワークショップやまちづくり団体との意見交換を重ね、「稲荷山重伝建地区まちづくりデザイン」を令和5年3月に策定した。それを具現化するため、令和7年度策定の第2期千曲市歴史的風致維持向上計画

A

Q

鍵の手の整備と活用は。

「旧米清」の土地・建物は昨年11月に市が取得した。鍵の手全体を一体的に重伝建の拠点施設として整備することが望ましいと考えている。



稲荷山重伝建 鍵の手 旧米清商店 こうじ屋

【その他の質問】

○交通弱者対策(お買い物バス、自動運転バス等)について

Q

公共施設のライフサイクルコストのうち、建設費は3割程度、7割は維持管理費と言われるように、施設の維持には莫大なお金が必要になる。財源不足への対応は。

A

千曲市公共施設等総合管理計画では、現存するすべての公共施設の更新や改修を行う場合、計画期間の30年間で約300億円の不足が見込まれるとしている。また、近年の建築費は大幅に上昇しており、計画以上の財源不足が生じる可能性が高く、予算を許さない状況であると認識している。現在、市が保有する集会施設を地元区へ譲渡したり、取り壊しのための協議を進めているが、今後、他の公共施設についても順次、施設のあり方や必要性等を更に検証し、機能の集約化や統廃合を進めていかなければならないと考えている。

無会派

早志 圭司



「じゅまんなか宣言」について

この宣言の意味は。

子ども達にとって最も良いことは何かを考え、社会全体で支えていくという姿勢を明確に示した。

Q

まんなかとはど真ん中のことか。

A

ど真ん中と考えている。

Q

戸倉上山田中学校の通学路において、自転車による事故が心配される交差点が多くあるが。

A

学校から報告を受けており、引き続き学校での交通安全教育を実施すると共に必要な安全対策を進める。

Q

育成会の補助金が削減になっているが。

A

令和5年度より4年間で2割、毎年5%削減している。

自由政策研究会

林 慶太郎



消防団改善計画による成果と今後について

Q

1年間の成果と課題は。

A

団員へのアンケートでは、ポンプ操法大会の見直しに出初式の省力化など、活動の負担が軽くなったという回答が多数あった。一方で、荒天時の対応や市民に活動を披露する機会が減少したことに対する懸念の声もあった。

Q

団員確保に関する成果は表れているか。

A

十分な成果は表れていないと認識している。アンケートでは消防団への理解が後退しているという声が多くあったので、解決に向けて理解促進を図っていく。



地域防災力の要である消防団の充実を

Q

新戸倉体育館整備に伴いグラウンドが使えなくなることで、少年サッカーの練習場が確保できていないが。

A

利用制限について説明する中で、スポーツのできる場所の確保について調整していききたい。

Q

千曲市内の保育園の老朽化が目立つ。本気で「こどもまんなか宣言」をしているのであれば、すべての事業に優先してでも保育園に予算をつけるべきでは。

A

各園が老朽化していることは十分に認識している。すぐには無理だがやるべきことはやる。

Q

「ど真ん中」と言われたが。

A

保育園をないがしろにしていることはない。大事なことで認識しており努力していく。

【その他の質問】

○千曲市まちづくり基本条例とパブリックコメントについて

提案制度について

Q

職員提案制度の採用状況と外部への公表は。

A

令和3年度から24件の提案に対し、17件採用した。ホームページでの公表などは検討していく。

Q

今後の協働事業提案制度の取り組みは。

A

令和7年度からは類似事業の統合による事業目的の明確化、応募の簡素化をしながら、事業実施に向けて募集を再開し、新制度の周知を進めていく。

文化財保存活用について

Q

博物館・文化施設における情報共有と連携は。

A

共通観覧券以外では各施設でのイベントのポスター掲示などによる広報程度となっている。今後は関係者による情報共有と連絡調整を定期的に行っていく。

市の財政について



一志会

田中 秀樹

Q

令和5年度決算の経常収支比率は94・9%となり、財政構造の硬直化が深刻な状態である。数値を改善するための方策は。

A

現在、庁舎建設等で借り入れた市債の償還が多いことのほか、人事院勧告に伴う人件費の増加、少子高齢化等に伴う扶助費の増加が続いており、経常収支比率が改善される見込みは当面ない。そうした中、単年度における市債発行額が公債費を上回らないようにし、市債残高と後年度の公債費の減少に努めている。加えて、公共施設の統廃合や事業の見直し等により、経常収支比率の改善を図っていきたいと考えている。

自由政策研究会 聖澤 多貴雄



財政について

健全化判断比率など債務を表す指標に加えて資産の状況も精査しないと健全度はわからない。公共施設など資産の維持に多額の費用を要し、老朽化に対しても更新に莫大な費用負担を伴う

今後の大型事業に対する進め方の方針は。

活用可能な財源や物価高騰の状況を考慮し、将来過度な財政負担とならないよう規模や時期を見極めていく。

公共施設の機能の複合化の考えは。

統廃合や機能複合化は重要な課題と認識している。さまざまな可能性を排除せず検討していく。

財政難に陥り、地域づくり要望が却下されないか。

担当課で実施に向けた調整などが済んだものから順次予算要求がなされている。

日本共産党千曲市議団 中村 恒彦



子どもまんか宣言

千曲市が一番大切にしたい子どもの権利は。

4つの原則のうち「こどもの最善の権利」。

通学路の安全要望に応えきれているか。

優先順位をつけ可能なものから順次対応している。要望箇所数が多く全てには対応できていない。

中学校に設置されている公共電話が撤去されると聞き、生徒や保護者の間に不安が広がっているが。

電話機設置事業者が経営方針として進めている。撤去されても学校の電話を使用させるなど臨機応変に対応していく。

悪天候や猛暑でも子どもたちが思い切り遊べる屋内施設を望む声が多いが。

多くの皆さまから全天候型の遊び場についての要望がある。全庁的な検討を進めていく。

農業について

昨年の猛暑による市内農家の果樹の被害状況と補償は。

県農業共済組合によると、りんごの日焼け被害は2件の申告があり補償額は約25万円。今後農家からの申告で被害状況を把握する。

耕作していない田を業者に貸し、麦やダイズの栽培等有効利用を更に進めるべき。

今年度策定の地域農業経営基盤強化促進計画で、地域での話し合いにより個人・法人等の担い手に集約・集積する。



市内で栽培されたリンゴ「フジ」の胴割れ被害

千曲市を航空写真で見ると屋代だけが開発されずに残っている。要望があれば説明会を実施する。

水道事業広域化は当初予算500億円が1119億円に倍増した。上田市は反対意見が多い。千曲市も自然資産である八幡、本郷浄水場を失う。市民説明会には不

説明会やアンケートにより市民から一定の理解を得ていると判断している。

市内にドッグランを設置できないか。

公営ドッグランの設置を求める要望書、ポリネコでも要望が来ている。今年度は各種団体にヒアリング等を行い、確認できた課題も参考に設置について検討していく。



犬との関わりは子どもに他者を思いやる優しい気持ちや知的好奇心を育みます
※要望書は令和4年4月500名の署名を添付して提出

自由政策研究会 聖澤 多貴雄



財政について

健全化判断比率など債務を表す指標に加えて資産の状況も精査しないと健全度はわからない。公共施設など資産の維持に多額の費用を要し、老朽化に対しても更新に莫大な費用負担を伴う

今後の大型事業に対する進め方の方針は。

活用可能な財源や物価高騰の状況を考慮し、将来過度な財政負担とならないよう規模や時期を見極めていく。

公共施設の機能の複合化の考えは。

統廃合や機能複合化は重要な課題と認識している。さまざまな可能性を排除せず検討していく。

財政難に陥り、地域づくり要望が却下されないか。

担当課で実施に向けた調整などが済んだものから順次予算要求がなされている。

一志会 宮下 繁明



上山田文化会館について

上山田文化会館は上山田公民館との複合施設であり地域の社会教育の重要な拠点であるが、建設から45年となり老朽化が著しい。令和7年度に計画していた非常用発電機・ガスヒートポンプの更新工事の中止はいったい誰が決めたのか。

A

老朽化した校舎の改築や大規模改修は耐力度調査の結果を見て進めていく予定であったが、財政上の理由で予算化を見送った。今後は実状に即した改修計画を検討していく。

敬老会について

昨年度は70の区・自治会で行われていた敬老会は、今年度補助金を減額したことにより多くの地区で中止となった。敬老精神や地域社会を守るためにも市の補助は必要ではないか。

A

今年度は17の区・自治会が敬老会を行い534人を対象に26.7万円の補助金を交付した。敬老会を見直したことにより区・自治会の役員の負担軽減になった。また補助金を大幅に減額したことが定期監査で評価された。

自由政策研究会 聖澤 多貴雄



財政について

健全化判断比率など債務を表す指標に加えて資産の状況も精査しないと健全度はわからない。公共施設など資産の維持に多額の費用を要し、老朽化に対しても更新に莫大な費用負担を伴う

今後の大型事業に対する進め方の方針は。

活用可能な財源や物価高騰の状況を考慮し、将来過度な財政負担とならないよう規模や時期を見極めていく。

公共施設の機能の複合化の考えは。

統廃合や機能複合化は重要な課題と認識している。さまざまな可能性を排除せず検討していく。

財政難に陥り、地域づくり要望が却下されないか。

担当課で実施に向けた調整などが済んだものから順次予算要求がなされている。

一志会 宮下 繁明



上山田文化会館について

上山田文化会館は上山田公民館との複合施設であり地域の社会教育の重要な拠点であるが、建設から45年となり老朽化が著しい。令和7年度に計画していた非常用発電機・ガスヒートポンプの更新工事の中止はいったい誰が決めたのか。

A

老朽化した校舎の改築や大規模改修は耐力度調査の結果を見て進めていく予定であったが、財政上の理由で予算化を見送った。今後は実状に即した改修計画を検討していく。

敬老会について

昨年度は70の区・自治会で行われていた敬老会は、今年度補助金を減額したことにより多くの地区で中止となった。敬老精神や地域社会を守るためにも市の補助は必要ではないか。

A

今年度は17の区・自治会が敬老会を行い534人を対象に26.7万円の補助金を交付した。敬老会を見直したことにより区・自治会の役員の負担軽減になった。また補助金を大幅に減額したことが定期監査で評価された。

日本共産党千曲市議団 中村 恒彦



子どもまんか宣言

千曲市が一番大切にしたい子どもの権利は。

4つの原則のうち「こどもの最善の権利」。

通学路の安全要望に応えきれているか。

優先順位をつけ可能なものから順次対応している。要望箇所数が多く全てには対応できていない。

中学校に設置されている公共電話が撤去されると聞き、生徒や保護者の間に不安が広がっているが。

電話機設置事業者が経営方針として進めている。撤去されても学校の電話を使用させるなど臨機応変に対応していく。

悪天候や猛暑でも子どもたちが思い切り遊べる屋内施設を望む声が多いが。

多くの皆さまから全天候型の遊び場についての要望がある。全庁的な検討を進めていく。

農業について

昨年の猛暑による市内農家の果樹の被害状況と補償は。

県農業共済組合によると、りんごの日焼け被害は2件の申告があり補償額は約25万円。今後農家からの申告で被害状況を把握する。

耕作していない田を業者に貸し、麦やダイズの栽培等有効利用を更に進めるべき。

今年度策定の地域農業経営基盤強化促進計画で、地域での話し合いにより個人・法人等の担い手に集約・集積する。



市内で栽培されたリンゴ「フジ」の胴割れ被害

千曲市を航空写真で見ると屋代だけが開発されずに残っている。要望があれば説明会を実施する。

水道事業広域化は当初予算500億円が1119億円に倍増した。上田市は反対意見が多い。千曲市も自然資産である八幡、本郷浄水場を失う。市民説明会には不

説明会やアンケートにより市民から一定の理解を得ていると判断している。

市内にドッグランを設置できないか。

公営ドッグランの設置を求める要望書、ポリネコでも要望が来ている。今年度は各種団体にヒアリング等を行い、確認できた課題も参考に設置について検討していく。



犬との関わりは子どもに他者を思いやる優しい気持ちや知的好奇心を育みます
※要望書は令和4年4月500名の署名を添付して提出

自由政策研究会

坂口吉一



子育て支援について

Q 本年度取り組む予定の新規事業は。

A 「子どもの福祉医療費給付金の窓口無料化事業」、「保育所施設整備事業」、「小規模保育事業所整備事業」、「小学校医療的ケア児支援事業」等である。

Q 公園への時計設置等、地域要望の進捗は。

A 都市公園利用者の意見等を聴く事を目的とした、スマホで簡単にできる二次元コードによるアンケートを四阿（あずまや）のテーブル等に設置しニーズ把握に努めている。

Q 障がいのあるお子さんの遊び場の整備は。

A 本年度稲荷山公園に、サポート付きブランコやクッション遊具のインクルーシブ遊具を2基設置した。インクルーシブ公園についての意

自由政策研究会

荻原光太郎



観光振興・地域活性化について

Q 戸倉上山田温泉の現状と課題は。

A 事業所の閉店や廃業による温泉街の魅力が減退する可能性を懸念している。空き店舗への参入を促し、インバウンド誘客への取り組みや人手不足への対策強化も重要である。

Q 新設する「文化観光スポーツ部」の事業を進めるうえで情報の収集、発信を一元化するため、信州千曲観光局を司令塔にしては。

A 4月以降、観光にプラスになるよう具体的な体制を検討する。

Q まちづくりアカデミー・アドバイザー山田桂一郎氏の講演会の開催予定はあるか。

A 3月25日、観光関係者を対象に、持続可能な観光並びに観光地域づくりの講演を

予定している。オンライン受講は今後前向きに検討する。

温泉資源の保護、活用について

Q 民間事業者の温泉掘削工事や湯湯設備工事などへの補助の考えは。

A 現時点では考えていない。

Q 上山田温泉の温泉水を原料に商品化した「温泉ミスト」をふるさと納税の返礼品に加えては。

A ぜひ返礼品として申請していただきたい。

Q 集まった寄付金で温泉資源の保護、開発への基金を造成しては。

A 翌年度の事業に充当するので、考えていない。



商品化されたばかりの「温泉ミスト」を、3月9日あんずまつりとともに銀座NAGANOでPR

「その他の質問」

Q 空き店舗の開業支援策について
Q 県の宿泊税と財源確保について

無会派

大澤 洋子



敗戦後80年
二度と戦争をしないために

Q 千曲市平和・安全都市宣言をして20周年となる節目の年。記念行事として、被団協代表田中熙巳さんの講演を企画提案したい。

A 予算、相手方の都合等の制約もあり実現は困難。

Q 平和活動推進のため、補助金制度の設立などを。

A 制度の設立予定はないが、既存の類似するものとして千曲市男女共同参画社会づくり補助金や、協働事業提案制度がある。また平和首長会議加盟自治体であること、満蒙開拓平和記念館に自治体協力会員費として5万円計上している。

Q 平和学習を学校教育と社会教育で。

A どう平和な世界をつくっていくか、学ぶ機会を大事にしていく。

千曲川展望公園の
眺望障害木伐採を

Q 地元の人達がベゴニアなどのきれいな花壇で、訪れた人を迎えてくれている。観光地は地元住民に愛されて魅力が高まっていく観光政策の原点がある。地域で大切にされているからこそその善光寺平をさえぎる支障木の伐採を。

A 公園管理者の長野県千曲建設事務所と相談した。土地の境界確認や眺望を阻害している樹木の特定が困難であるが、適切な対応をしていく。

「すべては市民のために」の
市民対応を

Q 市職員は、市民に寄り添ってほしいという切実な声や願いを聞いているか。

A 接遇改善を求めるご意見は、複数頂いている。市民の皆様はお客様という意識で接遇に努めるよう、研修会を実施したり、機会あるごとに周知徹底を図っている。

公明党

滝沢 清人



「命を守る耐震化」は急務

Q 大地震発生時の切迫性が指摘されるなか、旧耐震住宅所有者の多くが高齢者世帯であることが課題となっている。耐震化が進まない高齢世帯の要因は、資金不足や動機不足が考えられ、国交省は「方策マニュアル」を作成し、アウトリーチでの丁寧な相談を促している。また、国交省は新年度から「リバースモーゲージ」を活用した高齢世帯耐震改修強化施策を開始する。それらを含めた市の対策を伺う。

A 市では、これまで様々な制度を用意して支援してきたが、市民の命を守る耐震改修は大事な責務と考える。高齢世帯への対策は重要であり、先進事例をしっかりと研究して対処したい。



青年期から高年期まで、不安を抱える単身世帯が急増している。生活全般にわたる相談に応えられる保健師などのサポートは、生き抜く元気を吹き込んでくれる

単身世帯急増対策を急ぐべき

Q 全国では単身世帯が急増し38%に達し、市でも32%で世帯構成の第1位になっている。単身者の孤独・孤立問題は深刻な社会問題。全世代を対象に「単身者暮らしのサポート・プラットフォーム」を開設すべき。

A 重層的支援体制整備事業を目指しているが、まずは既存のプラットフォームで対応していく。単身世帯を主軸とした社会になりつつあると感じている。今後、単身者に寄り添うサポートは必須と考えるので、重層的支援体制と共に研究していく。

社会文教常任委員会視察

聖澤 多貴雄

1月27日、太宰府市にて元気づくりポイント事業を調査した。元気で生き生きと生活することを目的として、健診・自治会活動などで得られたポイントを、加盟店で利用可能な商品券やお米券と交換できる制度とした。地域活性化にも役立つ試みである。

翌日は全国初のワンヘルス宣言をした、みやま市の取り組みを調査した。人と動物の命と健康を守り、大切な地球環境を次世代の子どもたちに引き継いでいく壮大なテーマを推進している。朝倉市では秋月の重伝建地区を視察。城下町の町割りや街路構成、水路網がよく保存され、武家、商家、寺社が狭い平野に程よく配置されていた。秋月城址にある中学校など、現代に生きる人々との営みの融合が感じとれる保存方法であった。



福岡県朝倉市（重伝建地区）



福岡県太宰府市
(健康づくりポイント事業を調査)

議会広報特別委員会行政視察
(伊那市)

2月7日、議会広聴の向上のため、伊那市を視察した。議会政策サポーター制度や市民との意見交換会等、議会の広聴に関することについて説明を受けた。



議会広報特別委員会行政視察
(駒ヶ根市)

12月23日、議会広聴の向上のため、駒ヶ根市を視察した。議会モニター制度や議会報告会、高校生議会等の議会の広聴に関することを中心に説明を受けた。



議員活動

社会文教常任委員会が
市内保育園を現地調査

2月5日、施設の老朽化が進んでいる殖生保育園と、その比較対象として令和4年に開園したあんずの里保育園を現地調査した。殖生保育園では現状の課題と未満児用のプレハブ保育室設置工事について説明を受けた。



議会改革アドバイザーによる
議員研修会の開催

2月1日、千曲市議会改革アドバイザーの岩崎弘宜氏を講師に迎え、議員研修会を開催した。基礎を大切にするため、議会基本条例を題材に議会、議員の基本を再確認すると共に、議員の質疑の向上を目的に模擬議員間討議も行った。



議員表彰

1月22日に開催された長野県市議会議長会第173回定期総会にて、正副議長職にあって市政の振興と発展に尽くされた、小玉新市前議長と金井文彦前副議長（現議長）が表彰され、3月定例会で報告されました。



表彰を受けた小玉新市 前議長（左）、金井文彦 前副議長（右）



千曲市キャラクター
『あんぽ』



中村 友則さん
(戸倉)

「議会と市民との距離感」は

年数回発行される「議会だより」を目にして関心ごとがなければпойとなる。「不満、疑問があったとしてもどうするか」となる。自分ですらこうなら、他の皆さんはと考えるのは失礼だろうか。

議会の情報をもっと発信していただこう。議会にはしっかりと市民と対話をして声を拾いあげてもらおう。高齢者、介護、子育て等様々な職種、世代の方々がいて課題があるはず。声に出せない人がある。課題を挙げて

公募をすれば良い。本音のトークを期待する。市報に「議会の広場」としてでも頁を加えて双方向はどうだろう。議員の皆さんのつぶやきでもよし。

どこかで模擬議会の記事を見た。一考の価値があるならこれも提案か。

選挙の時だけ盛り上がる、と言っても投票率は高くない。やはり議会との距離があるのだろうか。

次回 6 月 定例会予定

(会期 19 日間)

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2 本会議 開 会	3	4	5	6	7
8	9 本会議 一般質問 (個人)	10 本会議 一般質問 (個人)	11 本会議 一般質問(個人) 議案審議	12 委員会 総 務	13 委員会 社会文教	14
15	16 委員会 経済建設	17	18	19	20 本会議 委員長報告 討論・採決	21
22	23	24	25	26	27	28

※議事の都合により、日程が変更される場合があります。

議会を傍聴しよう

本会議・委員会ともにどなたでも傍聴できます。

市役所 5 階の傍聴人受付簿に住所・氏名・連絡先を記入し入場してください。



議会だよりについてご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、読者アンケートを実施しています。

右記コードを読み取り、アンケートにご回答ください。

みなさまの貴重なご意見をお待ちしています。



アンケートはこちら



3 月定例会は、年に一度の会派代表質問がありました。代表質問は多角的・広域的な問題についての質問が多くなります。各地域・各地区の問題も大変重要ですが、千曲市全域のこれからを議論することが市議会には求められていると感じました。まちづくり基本条例で謳われている、まちづくりの基本原則は「情報共有」と「市民参加」です。市民の皆様の行政への積極的な参加と意見の提案をお願いし、議会側は情報共有に努めます。

(川嶋 敬信)

議会広報特別委員会

委員長 田中 秀樹
副委員長 林 慶太郎
委員 柳澤真由美
川嶋 敬信
中村 恒彦
宇田川弘子
堀内 太一
坂口 吉一